



いいたて

議会だより



発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会

2年いいたて新春村民のつどい



令和2年いいたて新春村民のつどい
～草野・飯櫃・自石小学校の校歌を歌う子供達～

議案審議「ザ・議論」 2～3

「いいたてクリニック」で薬の院内処方が決定

一般質問「村政ここが聞きたい!!」 4～12

豪雨災害の対応について 他

審議結果 13～15

議会の動き・常任委員会活動・編集後記 16

ザ・議論

令和元年第8回飯館村臨時会
(令和元年10月23日開催)
令和元年第9回飯館村臨時会
(令和元年11月28日開催)
令和元年第10回飯館村定例会
(令和元年12月13日～20日開催)
次のような議論が交わされました。
その議論の一部を紹介します。

第8回臨時会

(補正予算)

飯樋小学校の 利活用

質問 飯樋小学校は、今後どのように利活用していくのか。

答弁 飯樋小学校を初め各3小学校の校舎の利活用については検討を進めております。今後の施設の維持管理等も含めて、飯樋小学校は南校舎のみの活用を図るため、西校舎と北校舎は、接続部分を今回切り離して、解体します。

義務教育学校校歌

質問 教育総務費の報償費100万円増額の内容は。

答弁 新しい義務教育学校の校歌を、作詞が黛まどか氏、作曲を、南こうせつ氏に依頼し

て、謝礼として、各50万円を増額する予算です。

大倉地区の飲料水 確保

質問 大倉地区の飲料水安全対策補助事業の井戸掘り申請期間が短いのではという声が村民から聞かれる。

答弁 この事業は、東京電力からの賠償で飲料水確保の基金を使って対応しています。この事業は来年の3月で終了なので、申請期間を延長しても12月中旬頃までです。区長を通して、再度申し込みを取りたいと思います。

中学校修繕料

質問 中学校費の修繕料に、落雷に対する対策費も含まれているのか。

答弁 修繕の費用のみであります。落雷の対策としては、中学校の時計塔の上に避雷針が

あり、さらに近くのスポーツ公園の照明の上にも設置されています。避雷針があっても、駄目だったので、何かしらの対応策を考えたと思います。



▲中学校時計塔避雷針



第9回臨時会

(補正予算)

鹿沼市への災害 見舞金

質問 鹿沼市への災害見舞金100万円は、人的支援のあった自治体だけを基準とするということか。

答弁 震災にあった時に、臨時的に避難でお世話になったと言う経緯もあり、鹿沼市長にも何度も飯館村を訪れていたいただいて、その都度義援金を頂いておりました。市の職員を村へ派遣していただいていたということもございます。今回、鹿沼市もかなりの被害があったと言うことで、100万円の見舞金を計上させて頂きました。

職員給与

質問 給与等の改正に

ついて、給与表号級はどういう形で運用しているのか。

答弁 昇格及び昇給の基準に関する規則で定めていて、職員の給与の格付けを行っていません。

質問 県人事委員会勧告の趣旨からして、飯館村における一般企業労働者など村全体の労働者にはどの様に影響されるのか。

答弁 人事委員会勧告については主に民間企業への給料ベースに基づき調査をしています。民間企業の給料については、社会情勢や物価が反映されます。ここ3、4年の動向を見ると、賃金が少しづつ上昇している実態であり、飯館村に限らず、民間よりも公務員が突出して給料が高いと言います。

第10回定例会

(補正予算)

ありがとうホスト
タウン

ラオス交流

質問 ラオスの事業委託料で、マイナス836万円の減額と言うのはどういうことなのか。

答弁 滞在期間が当初の25日程度から10日ほどに短縮され、人数が20人程度で見積もっていたのが、15人程度になったからです。

いいたてクリニック
で「院内処方」

質問 いいたてクリニック指定管理業務での院内処方によって、村民の不便さは解消されるのか。

答弁 その場で薬が処方されると言うことで、すぐに薬が服用できるという面からしますと、

大分、村民の不便さの解消になると考えております。

質問 院内処方の導入ということだが、村外への通院者にはデメリットしかない。薬局に関して、今後も将来的に飯館村に薬局は出来ないのか。

答弁 進出する業者がいれば誘致に努めていく方針は変わりません。

河川の管理

質問 村管理の河川の数、また土砂撤去業務が終わった河川はどのくらいあるのか。

答弁 村管理の河川の数、17河川で24キロです。土砂撤去業務は、復興庁の生活環境整備事業として、平成29年度から実施し、今まで10河川やって来ましたが、完了しているのは



▲河川の土砂撤去

二、三河川で、今後も継続して順次やっていきたいと考えております。ただ、今回の災害でまた土砂がたまってしまった所があります。草刈りについては、多面的機能等の復興庁と業務を連携しながら管理をしていきます。

森林環境譲与税

質問 森林環境譲与税について、500万円という意外な数字であるがこの根拠は。

答弁 森林面積に対して少ないのではということですが、国の基準で決定されているのでご理解いただきたいと思えます。

聖火リレー

質問 聖火リレーでは、12キロと発表されたが、何名ほど走って、どのようなイベントを開催するのか。

答弁 村からの聖火ラ

ンナーは、一名と聞いています。また、四名程のスポンサー枠走者があります。イベントについては、補助事業に該当する160万円を計上し、飯館村の特色あるイベントになるようにこれから検討してまいります。

除雪基準

質問 何センチ以上で除雪を始めるのか。委託業者は何社になるのか。

答弁 基本的には15センチ以上で、村内の業者5社と南相馬市の業者3社でと考えています。

道の駅「ほづる館」

質問 道の駅のホームページ作成業務はどうなっているのか。

答弁 発注はまだしていませんが、道の駅のコンテンツ、コンセプトを出していくための



▲道の駅

その仕組み、従業員がなるべく簡単に、簡単に編集できるように形で、村の特産品を打ち出せる様にこれから着手させて頂きます。

(条例改正)

行政区長・副区長の身分

質問 行政区長・副区長について、単純に報酬から報酬に変わると言うだけなのか。何か意味があるのか。

答弁 公務員ではなくするため、公職選挙法に関連するものについても、特に制限はなくなるということですが。

ズバリ 村政

ここが
ききたい!!

一般質問 Q & A

12月定例議会の一般質問には8議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

相良 弘 議員

- 1 台風19号並びに大雨被害について
- 2 道の駅「まじい館」の経営状況について
- 3 来年4月に開校する「いいたて希望の里学園」について

佐藤 健太 議員

- 1 来年度当初予算編成方針について
- 2 道の駅「まじい館」について
- 3 災害復旧について
- 4 いいたてホームについて
- 5 義務教育学校について
- 6 携帯電話の不 통화地域について

高橋 孝雄 議員

- 1 飯舘村内の牧草地について
- 2 牧道を兼ねる5級村道の舗装について

渡邊 計 議員

- 1 豪雨災害について
- 2 令和2年度予算について
- 3 選挙について
- 4 少子高齢化について

長正 利一 議員

- 1 道の駅「まじい館」直売所について
- 2 花塚浄水場の道路整備について
- 3 堆肥購入先について
- 4 長泥地区環境再生事業について

高橋 和幸 議員

- 1 村内住環境の整備について
- 2 災害及び防犯対策について
- 3 地域文化の継承について
- 4 公務員及び教職員等の不祥事問題について

佐藤 一郎 議員

- 1 防災基本計画の見直しについて
- 2 台風被害箇所早期整備について
- 3 水の確保について
- 4 来年度予算編成について

佐藤 八郎 議員

- 1 災害への対応について
- 2 行政執行のあり方について
- 3 村民からの公開質問書について
- 4 公営施設の維持管理について
- 5 教育環境と健康について
- 6 人々の生活と生存権について



渡邊 計 議員

エツ、俺らの村には備蓄が無え

質 台風19号の際、避難所での対応は

答 非常食、飲料水等の備蓄はありませんでした

質問 台風の被害状況と復旧計画について伺う。

答 11月末現在では、

- ・農地災害166箇所
- ・農業用施設災害104箇所
- ・林道施設災害13箇所
- ・林道災害140箇所
- ・普通河川災害2箇所
- ・水道施設災害3箇所

計430箇所、14億2千万円、農作物被害を含む

めると15億円に及ぶ甚大な被害となっております。

復旧計画については、

国庫補助事業による災害を除いては村道、水道施設等の仮復旧を先行してきました。

農地の被害額10万円以上40万円未満の小災害については、受益者自ら実施する村単事

業により70%から90%の補助により対応します。10万円未満の災害は多面的機能支払交付金や自力復旧で対応するよう進めているところです。

質問 10万円から40万円の見積りはどのよう

にして決まるのか。

答 標準単価により

村で積算をした金額で補助金の決定をしております。

質問 深谷地区の洪水

の原因をどのように捉え、改善しようとしているのか伺う。

答 一つ目に新井田

川の通水能力の不足。

二つ目に営農再開の遅れによる農地の保水機能の低下。

三つ目に避難による用排水施設管理の事前対応ができなかったこと、などがあげられます。河川の断面が小さいので排水しきれないことがわかってい



▲台風の被害

に5名の避難者を受け入れました。

毛布100枚程度と反射式ストープ20台程度を保有しており対応しましたが、非常用の飲料水・食料については備蓄しておりませんでしたので13日の朝食はコンビニエンスストアより購入し提供いたしました。

質問 防災グッズ等調

べると飲料水・食料の消費期限は5年間と長いので計画的に増やしていきたい、また簡単な医薬品や懐中電灯(ランタン)なども装備すべきと考えるが。

答 災害がいつやっ

てくるかわからないので防災計画の策定を待つことなく装備することを検討したいと考えております。また飯櫃小学校の改修と合わせて防災センターの整備計画も進めていきます。

村長選挙について

質問 令和2年10月の

村長選挙に村長は出馬するのにか伺う。

答 任期中全力投球

で毎日仕事をし、首長としての役目を果たしていくだけです。

質問 村長選挙に出馬

するの可否かを聞いて

いる。

答 任期中一生懸命

頑張るといっただけです。

質問 そんなの当り前

です。やり残したことがあるか無いかが出馬可否かに関わる。

答 一つの時でも次

の課題は残っている。

質問 今ここでは求め

る答えは返つてきそうもないですね、ではいつ発表するつもりですか。

答 あくまでわかり

ません。任期中一生懸命やれば、結論は出るだろうと思っております。



高橋 孝雄 議員

質 牧草地へのソバ・菜種の補助について

答 今は補助がありませんが今後検討していきます

は9件、肥育農家が1件、ほかに乳牛の育成と繁殖に取り組む経営体が1件、合計11件が約450頭の牛を村内で飼育しています。

ご質問のように、畜産農家の減少に伴い採草放牧地が不要になるので、他作物を活用してはとのご提案ですが、今後も畜産経営体がさらに増える見込みであり、必要とする牧草等

を生産する為、採草地の利用にもある程度、需要は見込めるものと考えております。

しかしながら土地利用型の作目としてソバ、菜種栽培に取組む集落もあり、経営所得安定対策の1例をあげれば、認定農業者、集落営農等の要件はあるものの、畑作の10アール当たり、菜種については2万円、ソバについて

は1万3千円の面積払いのほか収穫量に応じた数量払いを受ける事ができます。

牧草地にソバ・菜種の助成金の上乗せは現在ございません。趣旨については理解しますので今後検討させていただきますと思います。

今、人口が減って交付税が減る中で、何億円というお金をずっと出し続けていくのは大変です。第6次総合振興計画の中で農地を守る対策を盛り込んでいきたいと考えております。

5級村道の舗装にNSN

質 5級村道であっても頻繁に車の通る道路については地元の要望があれば舗装をするべきだと思いが村長の考えを伺う。

答 牧道を兼ねるような5級村道の舗装などは復興庁事業の農道

整備による舗装などで取組んできましたが、かなりの量があるので利用頻度が高い路線につきましては村道管理基準に基づいて舗装を実施していきたいと考えております。

ただ、避難によって利用頻度の違いも出てきていると思いますのでその辺りも、今後の活用計画なども鑑みて基準に加味させていただきます。

質 現在、村内の牧草地は除染が完了して、牧草の種を蒔いていた。しかし、肝心の牛が居ない為に牧草は不要となり、現在は雑木等が生えて荒れ放題の牧草地が数多く見受けられる。

このままでは、村復興の大きな妨げになるので、荒れた牧草地に菜種とかソバ等を蒔いて村全体を美しくすれ

ば復興の加速につながるものと考えて。そして、その作業に取組む組合に対して、村として出来る限りの助成をすべきと思うが、村長の考えを伺う。

答 村では平成29年3月末の避難指示解除前から復興計画に基づき、村内での畜産業の再開、和牛経営体の育成を進めてきました。

現在、和牛繁殖農家



▲きちんと手入れされている牧野



▲利用者が増えている5級村道



佐藤 健太 議員

昨年12月の一般質問では、私からは6項目6点の質問をさせていただきましたが、今回はとりわけ次の3項目に絞ってご報告をしたいと思えます。

質 多目的交流施設等の維持管理の予算はどうするのか

答 維持管理費は自前でやっっていく事になるので経費削減に努める

来年度の当初予算編成方針について

質問 来年度は多目的交流施設やパークゴルフ場が完成するが、維持管理の予算はどうするのか。

答 建設費は国庫財源等を活用するが、維持管理費は自前でやっっていく事になるので経費削減に努めます。場合によっては年に1、2回のボランティアや、関わっていただける団体



▲建設中の多目的交流広場

や行政区にできるだけ管理運営を委ねていきたいと考えております。村からの支出を少なくしながら住民の皆さんの自前の物に対する責任や愛着をもって施設を維持していただくことが重要だと考えております。

意見

計画設計段階からもっと多くの村民に関わって頂かないと後から愛着を持ってと言われてもなかなか持てるものではないが、今更壞す訳には行かないので、今後は、どう活かすかと、自分達で出来

いいたてホームについて

質問 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」の入所状況と経営状況を伺う。

答 もともとは入居可能数130床だったが、震災後の様々な事情から70床で登録しています。

しかし、介護職員の不足から現在42名しか受け入れが出来ず、約30名以上待機していただいております。満床にするには法定基準では介護職員があと10名以上不足している状況です。

経営状況は介護職員不足により入所者が激減した為に年間1億8千万円〜2億円の赤字になっており、

る所と出来ない所を明確に見極め精度の高い利用計画と予算組みが求められます。

意見

非常に厳しい状態です。東電の賠償金と県からの運営補助金で赤字を補ってしております。このままでは令和8年には経営が息詰まる事が予測されています。

ここまでは分かっていながらも対処を怠って来た理事長(村長)にも大きな責任があります。この施設は村にとっても非常に重要な施設であり、無くす訳にはいきません。今後、人員の確保はもちろん、基金の創設、施設の縮小、若しくは一部貸出し等も検討すべきだと考えます。

義務教育学校について

質問

次に義務教育学校「いいたて希望の里学園」がスタートするにあたり、現在の無料措置や送迎は続いているのか。

答 村としては来年

度にも一部負担を求めていくよう考えております。送迎は来年度も今年度と同様に継続する予定です。



▲現在は自己負担無しの制服

意見 飯館の学校のメリットを再構築し、もっと明確にすべきだと考えます。





相良 弘 議員

質 台風19号並びに大雨被害
の中での村内の被害の
対応について

答 国・県補助事業の活用で対応し
ていきたい

質問 村内の被害状況について伺う。

答弁 水田は130箇所、畑が36箇所、農業用の施設・水路等が67箇所、農道が34箇所、ため池・揚水機が3箇所、住宅被害は昇口等65件、住宅裏山崩落等46件、床上浸水2件、床下浸水3件となっております。

施設に被害があった村民に村として見舞金を出すべきと思うが如何か。

答弁 どこまでという線引きの難しさもあり、現在のところは考えておりません。

質問 大規模な被害について、どのくらいの復旧期間が必要なのか。またその財源は何を予定しているのか。

答弁 補助事業の申請等の関係もあり、令和3年まで工期がかかるものもあると思われま。財源については激甚災害の適用を受けて国の補助に受けています。



▲台風による被害の状況

**道の駅「ままでい館」
の状況について**

質問 道の駅「ままでい館」の経営状況について、台風19号及び大雨により、年間売上計画の変更が余儀なくされると思うが、対応策を伺う。

答弁 プレミアム付商品券等を活用しながら売上増を図っていきたいと考えております。

質問 プレミアム付商品券に独自のメリットを付けて「ままでい館」の販促につなげることができないのか。

答弁 今回の商品券の性質上出来ない事になっております。

質問 今、コンビニ業界では元旦休業という動きがありますが、村ではコンビニを含め「ままでい館」では元旦休業についてどう対応するのか。

答弁 「ままでい館」につ

いては従来から年末年始は休業になっております。セブンイレブンにつきましては年中無休となっております。

質問 決算時期も間近になった現在、損益分岐点売上を達成するため今後どんな努力をするのか。

答弁 冬期間に入ると客足が落ちるといふこともあるので、収益率が大きい飲食部門に力を入れていききたいと考えております。



**義務教育学校「
CS2**

質問 令和2年度開校予定の「いいいたて希望の里学園」の目指す教育理念、教育目標を伺う。

答弁 教育目標は今の状況を受け止め、やがてはね返し、自分の夢や希望を実現させる力強さを持つてほしいという思いから、「竹のようになやかに、すくすくと」を目標に掲げております。

質問 校章の決まった経緯、意味について伺う。

答弁 小中学校の教職員、子供達からアイデアを募集し、その中から最終的に4点を選び開校準備委員会で満場一致で決定しました。意味という事ですが、村の形が背景になっていたり、さまざまな意味があります。出来る限り早く馴染んでもらえることを願っております。



佐藤 八郎 議員

質 土壌計測しないで、安心安全とはならない。

答 空間放射線量値では大丈夫

質問 想定外の水害・災害である。村としては村民の被害に配慮すべきである。

答弁 村として助成や見舞金は今のところ考えておりません。

質問 村全面積の約85%は無除染地域であり、この台風被害により高い所にある放射性物質(毒物)が低い所への流出はあったのか。

答弁 移動したとは認識しておりません。

質問 移動はあった。

答弁 有意な空間の放射線量の変異は見られませんでしたが、営農を再開する農地に限ってはカリ材を吸収抑制

質問 空間放射線量値の調査、計測したが問題は少ないとしているようだが、床下汚染土の調査では5240 Bqであったが、土壌調査はしないのか。

答弁 有意な空間の放射線量の変異は見られませんでしたが、営農を再開する農地に限ってはカリ材を吸収抑制

対策として施肥する予定です。



▲台風による被害の状況

行政の主人公は村民である

質問 行政窓口の手續において、村民がすべて理解しないなかでの役場訪問時の対応は、一回で済むように早急に行政努力をすべきである。

答弁 庁内ではそのようないことが無いよう、職員に周知徹底を図っていきます。なお、郵便などで対応できるものもございませぬので、サービスの提供に問題のないように対応して参りたいと思います。

質問 村民が求めている公開質問書へ回答し、村長が村民の為に東京電力からの賠償金が2,000億円とした内訳をなぜ答えないのか。

答弁 トータルで2,000億円ぐらいかなと言う話を東京電力から聞いたものでありまして、その内訳については東京電力でも公表していません。

質問 炭・薪の使用 冬期暖房(ストーブ・掘りごたつ)の助成処置がある市町村もあるが、原発事故により使用できなくなった「炭、薪、焚き木」などの購入助成をすべきであるし、灰処理もきちんと対応すべきだ。

答弁 事故前の暖のとりかたではなく石油、電気ストーブでとお願いしています。助成や、東電への要望は考えておりませぬ。

免疫力が弱い子供は大丈夫なのか

質問 村が準備されたこども園、小中学校へ通園・通学している子どもと、村外のこども園や小中学校へ通園・通学している子どもの負担している金額の差はどのくらいあるのか。差額をわかるように示せ。

答弁 現在、村のこども園、小中学校へ通園・通学されている子どもにつきましては、村内外を問わずすべて無料としています。

一方、村に住民票があり村外に通園・通学している子どもの保護者負担につきましてはそれぞれの状況により負担額が違いため、負担額をすべて把握する

のは困難であります。
質問 村内施設に通園・通学している子ども達の放射線被ばく量はいくらか。

答弁 学校関係者には線量計を持たせています。その中では年間0.7 mSvが実測値です。





佐藤 一郎 議員

質 防災基本計画の見直しについて

答 令和2年度、新たな地域防災計画を策定する

質問 今回の台風を経験として、いかにして村民の命と財産を守るのか、特に「情報の出し方」「県と村と行政との連携」「村民の避難の仕方」の3点について、防災計画の見直しをしながら村全体の共通理解が必要だと思いが考

答弁 情報の出し方としては、エリアメール、

村のホームページの情報、村の災害情報メールがあります。県と村と行政との連携では、それぞれ、管轄が異なるので、できるだけ早く災害情報を収集し、関係機関に

ついでに、避難準備・指示情報の収集をしていただくことが大切で

す。

次年度においてできるだけ速やかに新たな地域防災計画を策定します。

また、地域防災計画においては、避難基準となるボーダーラインの設定、ハザードマップの作成も進めてまいります。

台風被害箇所を整備について

質問 15億円の被害のなかで激甚災害の補助を受けられる割合はどれくらいか。

また、大倉行政区を含め、どれくらいのスピードで復旧できるのか伺う。

答弁 激甚災害の適用を受けられる箇所は、

国庫補助金による復旧の農地、農業用施設等災害復旧事業13箇所、公共土木施設災害復旧事業12箇所、林道施設災害復旧事業1箇所と



▲台風19号による道路崩落

なっています。

小規模な災害は、約130箇所、村単補助事業として進めます。

復旧のスピードは、村道小滝大倉線は、令和3年度、大倉浄水場は令和2年8月完了見込です。

水の確保について

質問 台風災害や異常気象により村内の簡易水道施設の維持管理と災害復旧の財政負担が

大きくなると思われる。新事業として、各家庭への井戸掘削事業を提案したいが考えを伺う。



▲台風19号により被害を受けた水道施設

答弁 大雨時の対応には大変苦慮しておりますが、今年度から役場のパソコンから取水栓等の遠隔操作が可能となる中央監視システムを構築したことにより、災害時にも活用できるものと考えております。水道施設を廃止するには解体・撤去費、

防火用水の確保に、大

倉浄水場で約3億円かかりますので、当面、現行で水の確保を図ってまいります。

来年度予算編成にCS2

質問 菅野村政の今任期最後の年に向けた予算編成の考えを伺う。

答弁 各課の重点ヒアリングを行い、編成にあたっては、来年度予算は復興・創生期間の最終年度となるため精度の高い編成を指示し、農地の管理・所得向上につながる事業を用いて、「美しい村づくり」の理念に齟齬がでることのないよう、長期的視野に立って調整を図ってまいります。





高橋 和幸 議員

質 村内(住環境)整備について

答 きめ細やかな対応を検討

質問 帰還した人や帰還して来る人達への現時点に於いての村内環境の充実性の成果と課題を伺う。

答弁 高齢者等に対しての足の確保を検討していきたいと考えております。4月から買い物ができるよう、何らかの形でできればと検討しています。

医療については薬の院内処方と、診療日の追加をお願いしていま

す。
質問 介護については、いたてホームの介護職員を増やしていきたいと考えております。
答弁 住宅については、現在建設中の住宅もあるのでそちらで対応可能かと思っております。防犯についてはウルトラ警察隊・村の防犯指導隊・駐在所などが力を合わせて対応していきます。

質問 箱物作りから村民の求める公共施設等

のものづくりへの変換の時期に来ていると考えるが、行政の見解を伺う。

答弁 箱物作りはほぼ完了したと思っております。ご指摘の地方交付税も不透明でありまして、今後はハードからソフトへの転換を図り、効率的な行政運営と第6次総合振興計画を真剣に考えていかなければならないと思います。

質問 村内の環境整備の進捗が遅々であると感じられる点について、行政運営の適正化等を伺う。

答弁 村の課題としては暗渠排水、用排水路、ため池等の農業基盤整備をどう進めていくのか、営農再開支援、雇用の確保、スーパールの設置、高齢者の生活支援、コミュニティの形成

等、多くの課題に直面しています。優先順位をつけ、年次計画で取り組んで参りたいと考えております。

災害及び防犯対策

2025

質問 自然災害の緊急時の対策及びマニュアルの有無について伺う。

答弁 現状に合った地域防災計画、ハザードマップやとっさのときに活用出来るマニュアルなども必要であると考えておりますので、次年度、計画策定に向けて十分に検討して参ります。

質問 村民の安心安全、生命と財産を守る重要性、具体的かつ現実的な対策と課題を伺う。

答弁 警察や広域消防、防犯指導隊や消防団等の関係機関との情報交換、連携をとり防犯・防災へ取組んでいきます。

地域文化の継承について

質問 飯館村の伝統文化の次世代への継承は

急務で、地域のつながりの希薄化を改善するために必要不可欠である。この問題に関する見解を伺う。

答弁 ご指摘の地域コミュニティの希薄化対策としても地域に伝わる伝統芸能の継承は大変有効なので、DVDに記録を保存継承に対する支援を含めて取り組んでいきたいと考えております。

教職員の不祥事対策について

質問 飯館村に於いての教職員等の指導要領、問題に於いての対処法、どのような管理体制を

図っているのかを伺う。

答弁 飲酒運転は即懲戒免職です。守秘義務の徹底も重要です。不祥事をゼロに近づけるように不祥事防止の行動指針を速やかに策定したいと考えております。教職員についても綱紀粛正に努めていきます。



▲小宮の田植踊り



長正 利一 議員

質 道の駅「までい館」直売所の拡大について

答 野菜陳列場の拡大と出入口の自動化に向けて、売り場の改善を図る

質問 オープン当初は陳列する地元野菜・花等が品薄状態であったが、現在は50名の登録会員があり、陳列する商品棚の不足や、商品陳列も煩雑になる状況である。陳列場の拡大と、直売所への出入りを南側からも可能にし、生鮮食料品の取扱いもできるようにすべきと考えるが何う。

答弁 8月20日に生産者との打合せ会を実施

し「生産者会」を立ち上げました。出席者の皆様からも農産物の売り場面積が足りない、陳列するスペースが不足しているなどのご意見も出され、11月には村へ「生産者会」から、道の駅「までい館」の売り場面積の拡大に加え、南側の自動ドアの設置要望がありました。今後村として生産者の皆様のご意見を聞きながら、新年度に

花塚浄水場の道路整備について

予算計上し売り場の改善を図ってまいります。ご指摘の生鮮食料品を扱うことのできるミニスーパー的なスペースの確保についても検討してまいります。

質問 台風19号等の大雨などにより、周囲の農地へ砂利や土砂が流出するなど、多くの被害が出ている。村の重要施設、花塚浄水場へのアクセス道路も被害を受けた。災害防止に向けた整備が必要と考えるが如何か。

答弁 村道花塚線は大雨による路面洗堀や、敷き砂利の流出が頻繁に発生しております。

本路線は、花塚浄水場の管理道路と農道としての機能を有する路線でもありますので、交付金事業等を活用した舗装の整備を行ない、安全・安心の住環境整

堆肥の購入先について

備に努めて参ります。

質問 農地の地力回復支援事業として堆肥の供給を実施しているが、堆肥の導入先は現在フェリスラテ（福島市）から購入している。避難指示解除後、村内においても多頭化飼育している畜産農家も増えつつある中で、過剰堆肥も予測されることから、販売を希望する畜産農家からの仕入は可能か何う。

答弁 村では、「除染後の農地の地力回復」メニューを活用して、作付再開を見込む農用地10アールあたり、原則1トンを上限に、堆肥を供給しております。

供給にあたっては、完熟堆肥であること、放射性物質濃度が1kgあたり400ベクレル未満であること等の条件を満たす堆肥として、今年

度は福島市内のフェリスラテから運搬し供給しております。

現在村内においては、和牛繁殖農家9件を含む11件の畜産農家が、約450頭の牛を飼育しており、各畜産農家で余剰堆肥があれば、村内で生産された堆肥の供給を優先することも可能と考えております。

尚、堆肥の熟成度や成分、放射性物質濃度等を確認したうえで利用を図ってまいります。

長泥地区環境再生事業について

質問 計画では3つのゾーン①「居住促進ゾーン」②「農の再生ゾーン」③「文化・交流ゾーン」での事業を令和5年度事業完了し、避難指示解除を目指し、一定程度整備が整った場合は先行解除も可能としているが、現在の進捗状況について何う。

答弁 3つのゾーンに分けて事業展開しており、「農の再生ゾーン」の一部を活用し、環境省が各種の実証事業を実施している。昨年度から①と③ゾーンでは建物解体・除染が②「農の再生ゾーン」においては、環境再生事業エリア以外の農地除染が進められており、建物解体は今年度で、除染は令和2年度までの完了を予定しています。

関係機関が集まっの会議を6回開催し、実証事業の中間報告や課題検証等をおこなっております。

尚、会議の協議内容や議事概要については、環境省がインターネット上で公表しているほか、4月24日には実証事業について現地における初のプレス発表を行うなど進み具合の透明性を図っております。

審議結果

令和元年第8回（10月）臨時会では令和元年度予算案件2件、条例案件1件、その他（契約の承認・変更）案件5件、専決処分（承認）2件、が提案され、審議の結果は原案どおり議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第6号)
- 予算案件2 令和元年度飯舘村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- 条例案件1 飯舘村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
- その他案件1 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路工事(飯樋地区)請負契約について
- その他案件2 農業基盤整備促進事業(飯舘西部その2)農業用排水施設等整備工事請負契約の変更について
- その他案件3 農業基盤整備促進事業(飯舘西部その2)農業基盤整備工事請負契約の変更について
- その他案件4 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(外内地区)請負契約の変更について
- その他案件5 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(入山田、山田地区)請負契約の変更について
- 専決案件1 専決処分の承認について
消費税が10%になったことによる契約金額の増
 - 1-1 大師堂住宅団地住宅建設工事
 - 1-2 深谷地区多目的交流広場工事
 - 1-3 飯舘村役場庁舎改修工事
 - 1-4 いちばん館機能改修工事
 - 1-5 平成31年度・第2号農業水利施設等保全再生事業・ため池放射性物質拡散防止対策工事・入山田、山田地区
 - 1-6 平成31年度・第1号農業水利施設等保全再生事業・ため池放射性物質拡散防止対策工事・外内地区

- 1-7 令和元年度福島再生加速化交付金事業・飯舘村簡易水道監視設備等整備工事
- 1-8 令和元年度大師堂住宅団地敷地造成工事
- 1-9 平成31年度 第1号村道舗装機能回復工事
- 1-10 平成31年度 第3号村道舗装機能回復工事
- 1-11 平成31年度 第4号村道舗装機能回復工事
- 1-12 平成31年度 第5号村道舗装機能回復工事
- 1-13 平成31年度 第6号村道舗装機能回復工事
- 1-14 令和元年度 被災地域農業復興総合支援事業効果促進事業
- 1-15 トラクター付属機器一式ほか
- 1-16 ミニパワーショベル一式ほか
- 1-17 畜産用機械一式
- 1-18 堆肥運搬車2台及び畜産運搬車1台
- 1-19 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業・農業集落排水管路工事・草野第1地区、草野1期②

○専決案件2 専決処分の承認について

台風19号他の豪雨災害による対応の為の工事費等

- 1-1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算
- 1-2 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算

令和元年第9回（11月）臨時会では、人事院勧告実施のための予算案件5件、条例案件4件が提案され、審議の結果は原案どおり議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第7号)
- 予算案件2 令和元年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 予算案件3 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 予算案件4 令和元年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 予算案件5 令和元年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 条例案件1 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 条例案件2 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 条例案件3 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 条例案件4 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

令和元年第10回（12月）定例会では 予算案件5件、条例案件4件、委員会発議1件が提案され、審議の結果は原案どおり議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

- 予算案件1 令和元年度飯館村一般会計補正予算（第8号）
- 予算案件2 令和元年度飯館村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 予算案件3 令和元年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）
- 予算案件4 令和元年度飯館村農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
- 予算案件5 令和元年度飯館村介護保険特別会計補正予算（第5号）
- 条例案件1 飯館村森林環境譲与税基金条例
- 条例案件2 飯館村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- 条例案件3 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 条例案件4 飯館村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
- 委員会発議1 看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める意見書(案)

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。是非お出かけください。

※タブレット・パソコンでも議会中継がご覧になれます。

今後の議会の予定

【3月定例会】 3月3日開会、5・6日一般質問、
10・11・12日予算審査特別委員会、17日議案審議・閉会

議会の主な動き (9) (12月)

《10月》

2日

- ・新常任委員会
(常任委員の改選)
- ・全員協議会

- ・議会改革特別委員会

21日

- ・相馬地方市町村議会
議員・幹部職員合同
研修会 (相馬市)

23日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・第8回臨時会本会議
- ・議会運営委員会(新)

24日

- ・広報編集特別委員会

《11月》

28日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・第9回臨時会本会議
- ・合同所管事務調査
(株) ハヤシ製作所

(株) 菊池製作所

《12月》

10日

- ・議会運営委員会

13日

- ・全員協議会
- ・第10回定例会
本会議 (開会)
- ・常任委員会

17日

- ・本会議 (一般質問)

18日

- ・本会議 (一般質問)
- ・全員協議会
- ・議会運営委員会

20日

- ・全員協議会
- ・第10回定例会本会議
(議案審議・閉会)



常任委員会活動報告

常任委員会合同調査

村内企業の労働者不足への対応状況について、(株) ハヤシ製作所及び(株) 菊池製作所を訪問し調査をさせていただきました。

調査内容

- ①従業員雇用の状況
- ②外国人労働者の雇用状況
- ③村への要望等

所見

・労働者不足への対応については、今のところ深刻ではないが、技術の継承の観点から若者の雇用が課題となっている。
・外国人労働者の雇用状況は(株) ハヤシ製作所23名で、正社員と外国人労働者で待遇の差はない。

要望

技能実習生の雇用については、雇用継続等のために様々な会社負担はあるが安定した雇用に繋がる事がメリットとなる。
(株) 菊池製作所は、外国人労働者はいないが、村内出身者の優先雇用につとめている。

・村への要望等については、従業員の住居確保において、村営住宅を社宅賃貸としても借りる事が出来るよう強い要望がありました。
・までのりの里のこども園児の受入れ可能人数の拡充。

・県道原町川俣線バイパスと村道(向押山田線) 取付の改善と荒井橋から(株) 菊池製作所までの改良。

・消防活動については両社とも可能であることなどのお話や、ご意見・要望等がありました。



▲所管事務調査(ハヤシ製作所)



▲所管事務調査(菊池製作所)

編集後記

正月も三ヶ日も過ぎ、にぎやかだった我が家も元の静かな生活になりました。

今年には、殺害や自殺や虐待の記事が目立つ昨今、人生においても後悔はつきものであるが、人様に迷惑をかける後悔はしないようにしたい。
新聞には、殺害や自殺や虐待の記事が目立つ昨今、人生においても後悔はつきものであるが、人様に迷惑をかける後悔はしないようにしたい。

本村においても、復旧・復興はまだまだ道半ばでありますが、前を向き明日が今日より良い日であるように、その瞬間をよく心に刻み、後悔しない一年にしていきたいものです。

発行責任者

議長 菅野 新一

編集

広報編集特別委員会

委員長 相良 弘

副委員長 佐藤 健太

委員 渡邊 計

高橋 孝雄

長正 利一

佐藤 一郎

高橋 和幸